

決算補足説明資料 (2026年10月期 中間期)

2026/6/12

2026年10月期 中間期実績

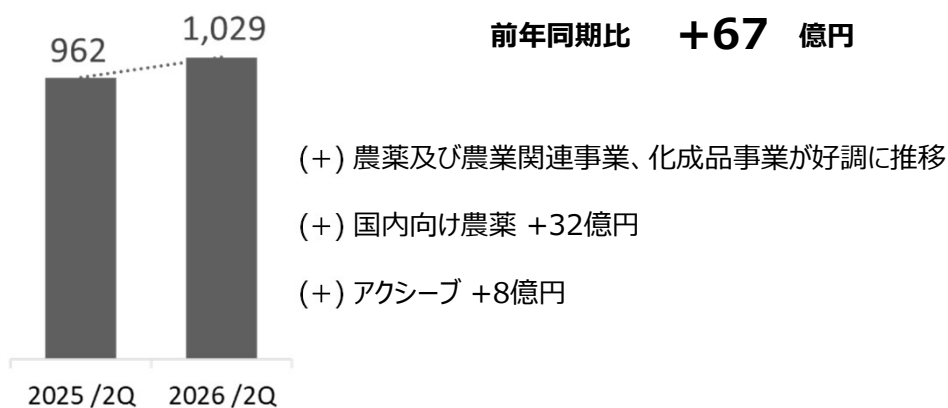
(単位：億円)

	2025 /2Q 実績	2026 /2Q 実績	前年同期比	増減率	2026 /2Q 業績予想	予想比	増減率
売上高	962	1,029	+67	+7%	928	+101	+11%
売上総利益	208	223	+15	+7%	-	-	-
営業利益	94	105	+10	+11%	61	+44	+72%
経常利益	83	138	+55	+66%	82	+56	+68%
親会社株主に帰属する中間純利益	63	87	+25	+39%	44	+43	+99%

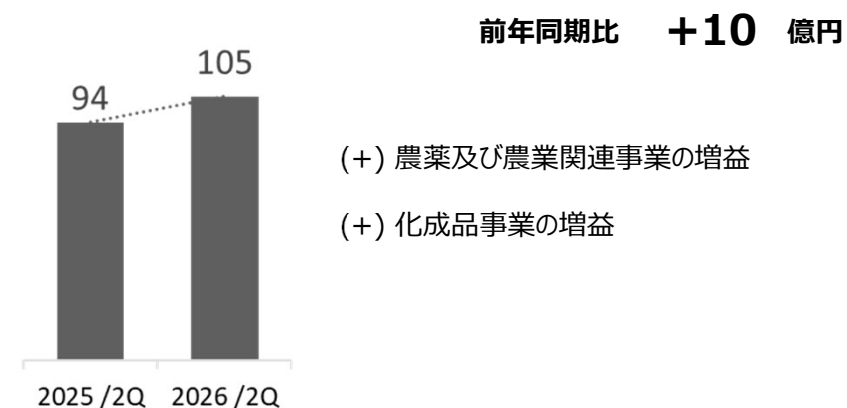
参考：平均レート ¥/ドル=151 ¥/ドル=157

¥/ドル=150

売上高



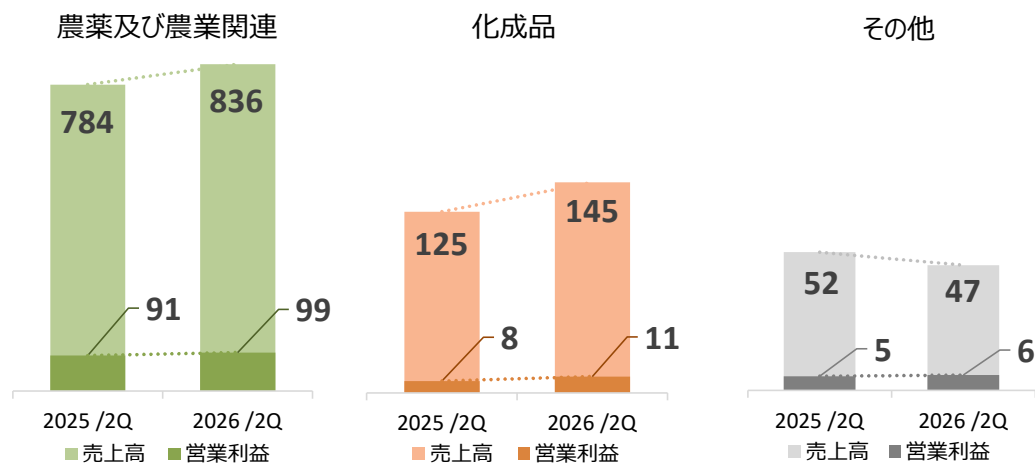
営業利益



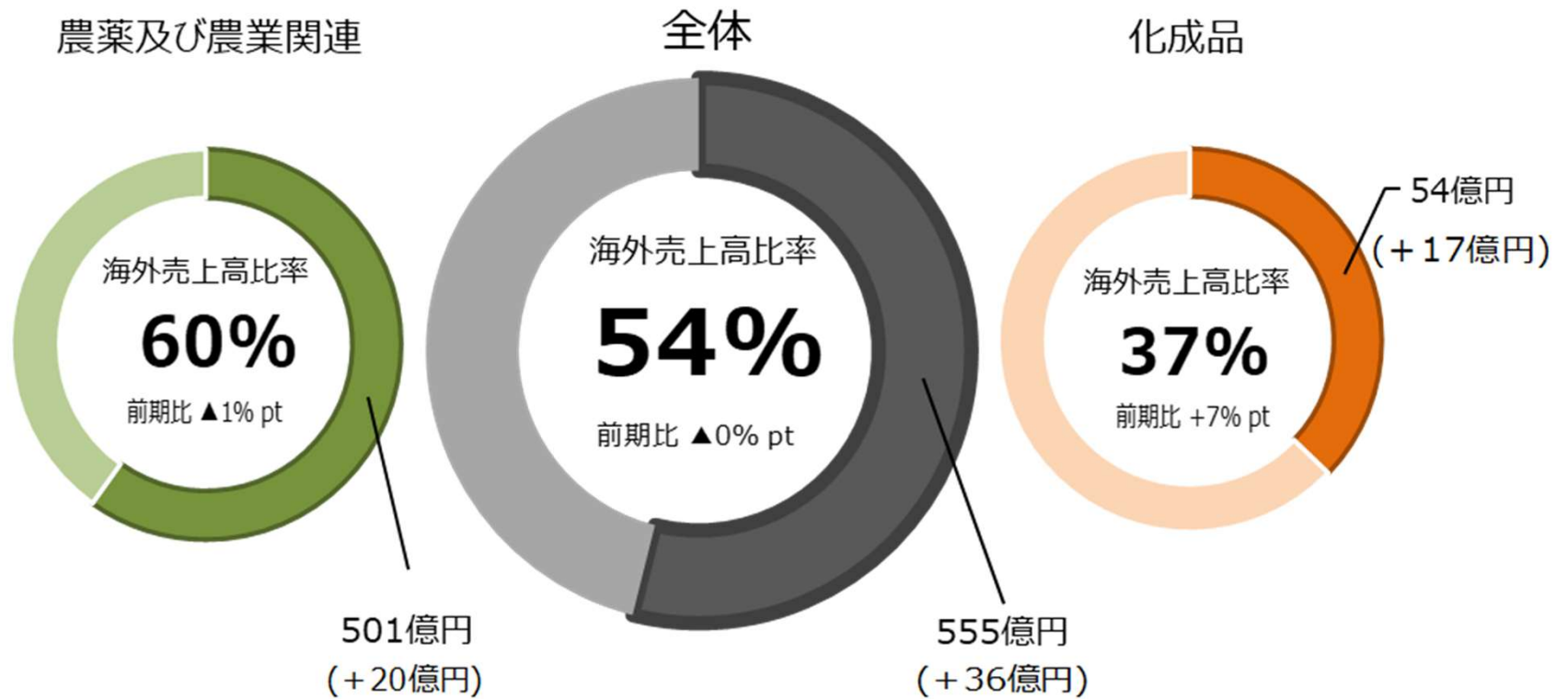
2026年10月期 中間期実績 (セグメント別)

(単位：億円)

	2025 /2Q 実績	2026 /2Q 実績	前年同期比	増減率
売上高	962	1,029	+67	+7%
農薬及び農業関連	784	836	+52	+7%
化成品	125	145	+20	+16%
その他	52	47	▲5	▲9%
営業利益	94	105	+10	+11%
農薬及び農業関連	91	99	+8	+9%
化成品	8	11	+3	+38%
その他	5	6	+0	+9%
(調整額)	▲10	▲11	▲1	-



2026年10月期 中間期実績 (海外売上高比率)



2026年10月期 中間期実績 総括

事業全体

中間純利益※：親会社株主に帰属する中間純利益

売上高	1,029 億円(前年同期比 +67 億円)
営業利益	105 億円(前年同期比 +10 億円)
経常利益	138 億円(前年同期比 +55 億円)
中間純利益※	87 億円(前年同期比 +25 億円)

- 農薬及び農業関連事業、化成品事業で増収・増益
- 国内向け農薬が前年同期比32億円の増収
- 経常利益は為替差損益 前年同期比36億円、持分法による投資利益 前年同期比10億円の増益
- 中間純利益は連結子会社であるイハラニッケイ化学工業(株)において固定資産の減損損失および構造改革費用を含め特別損失を計上したものの、経常利益の大幅増益により、前年同期比25億円の増益

農薬及び農業関連事業

売上高	836 億円(前年同期比 +52 億円)
営業利益	99 億円(前年同期比 +8 億円)

- 国内向けは除草剤「エフィーダ」を含む水稲用除草剤、殺菌剤「ディザルタ」を含む水稲用箱処理剤が好調
- 海外向けは除草剤「アクシーブ」オーストラリア向けが出荷減も、米国向けがジェネリック参入を見据えた販促支援による前倒し出荷により増収

化成品事業

売上高	145 億円(前年同期比 +20 億円)
営業利益	11 億円(前年同期比 +3 億円)

- 生成AIサーバー向け電子材料分野の需要が好調に推移し、ビスマレイミド類の出荷大幅増
- 一部のクロロキシレン系化学品の前倒し出荷により増収

その他事業

売上高	47 億円(前年同期比 ▲5 億円)
営業利益	6 億円(前年同期比 +0 億円)

- 建設業で前年同期に複数の大型工事が完成したことなどから減収

2026年10月期 業績予想（前期比）

（単位：億円）

	2025 実績	2026 予想	前期比	増減率
売上高	1,705	1,620	▲85	▲5%
農薬及び農業関連	1,357	1,270	▲87	▲6%
化成品	251	261	+10	+4%
その他	97	90	▲7	▲7%
営業利益	106	72	▲34	▲32%
経常利益	134	109	▲25	▲18%
親会社株主に帰属する当期純利益	44	64	+20	+46%

参考：平均レート ¥/ドル=149 ¥/ドル=150

■ 通期業績予想は据え置き

□ 事業環境

- ✓ 中東情勢の緊迫化および紛争の長期化により、当社事業への影響が想定されるものの、その影響の程度については精査中

□ 農薬及び農業関連

- ✓ 国内向け農薬が好調に推移
- ✓ 当中間期は米国向けアクシーブがジェネリック参入を見据えた販促支援による前倒し出荷により増収
下期はジェネリック品との競合により、値下げ圧力が強まる想定

□ 化成品

- ✓ ビスマレイミド類の出荷増による上振れの可能性

研究開発費・設備投資・減価償却費

研究開発費

2025年度実績	71 億円	2026年度計画	79 億円
(主な内容) 海外開発への取り組み強化、最先端技術の活用による研究推進			

設備投資

2025年度実績	70 億円	2026年度計画	59 億円
(主な内容) 生産、研究設備の更新			

減価償却費

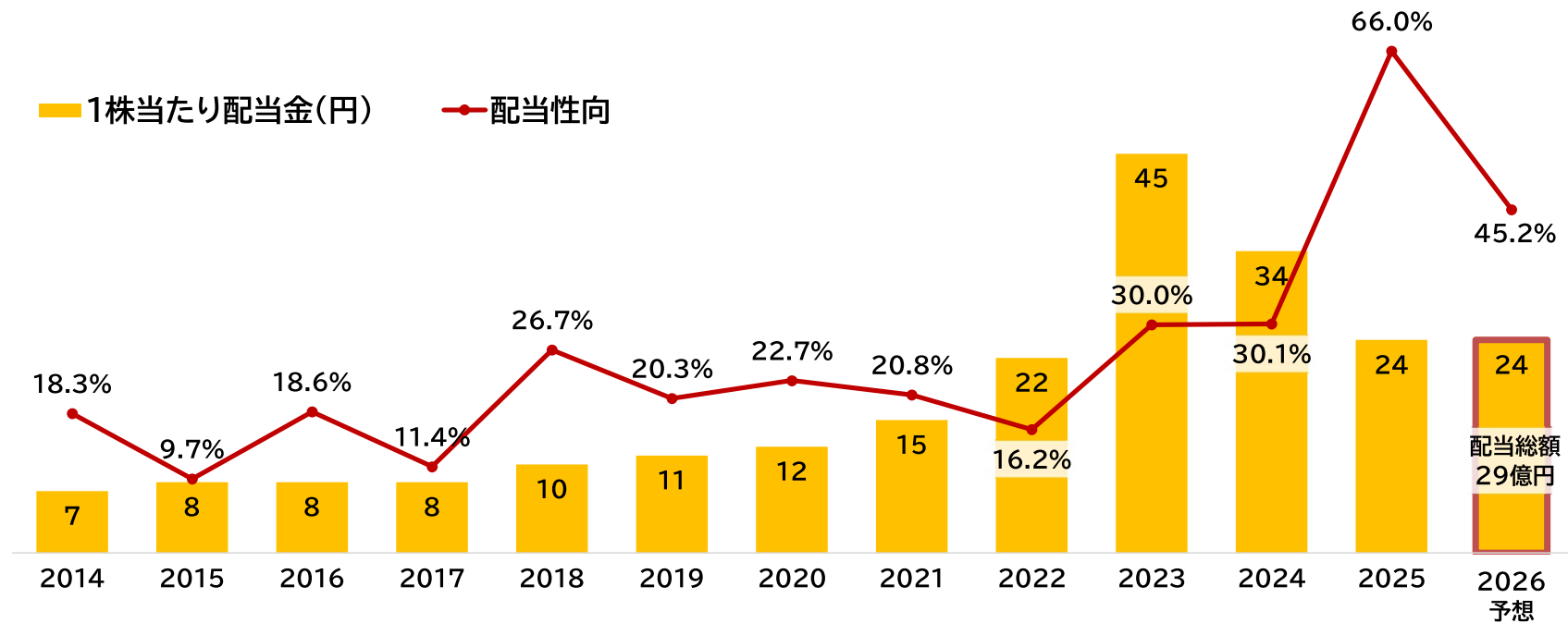
2025年度実績	57 億円	2026年度計画	59 億円
(主な内容) イハラニッケイ化学工業(株)の固定資産の減損損失により減少の見込み、詳細を精査中			

株主還元施策

配当性向30%以上を目標

2026年度 配当予想

中間配当10円 + 期末配当14円 = 年間配当24円 (配当性向 45.2%)



本資料に記載されている業績予想および将来の予想などに関する記述は、資料作成時点で入手した情報に基づき、弊社で判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なる可能性があります。

万が一、この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いませんこと、ご承知おきください。

弊社および弊社関連会社以外に関する情報は、公知の情報に依拠しており、情報の正確性などについて保証するものではありません。

<お問い合わせ先>
クミアイ化学工業株式会社
経営管理本部 経営企画部 企画課

弊社IRサイトもご覧ください <https://ir.kumiai-chem.co.jp/>